

平成26年度 岩手県農業研究センター試験研究成果書

区分	普及	題名	オーチャードグラス中生優良品種「ハルジマン」、「まきばたろう」、「北海30号」の特性
[要約] オーチャードグラス中生品種「ハルジマン」、「まきばたろう」、「北海30号」は収量性及び永続性に優れ、本県に適應する優良品種である。			
キーワード	オーチャードグラス	優良品種	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室

1 背景とねらい

オーチャードグラスは、寒地型多年生イネ科牧草の代表的草種であり、本県においても基幹草種として県下全域で栽培されている。旧推奨品種「フロンティア」が販売中止となったことにより、本県のオーチャードグラス中生品種に優良品種がない状態である。畜産農家の自給粗飼料の安定生産に資するため、オーチャードグラス中生品種の特性を明らかにする。

2 成果の内容

- (1) 出穂始期は、「まきばたろう」が最も早く、「ハルジマン」及び「北海30号」は5日遅い。出穂期は、「まきばたろう」が最も早く、「ハルジマン」及び「北海30号」は4日遅い(表1)。
- (2) 「ハルジマン」は、雪腐褐色小粒菌核病に強く、他の2品種よりも越冬性に優れており、1番草において草丈が高く、耐倒伏性に優れている(表2)。
- (3) 「まきばたろう」は、草丈がやや低く、「ハルジマン」「北海30号」に比べ1番草の耐倒伏性がやや劣る(表2)。
- (4) 「北海30号」は、雪腐褐色小粒菌核病に強く、1番草の耐倒伏性に優れ、草丈は1から3番草まで高い(表2)。
- (5) 3品種とも収量性は旧推奨品種「フロンティア」並で良好であり、永続性にも優れている(表3)。

3 成果活用上の留意事項

- (1) 播種量は2.0 kg/10aとする。
- (2) 栽培管理については牧草・飼料作物生産利用指針(岩手県)を基本とすること(参考資料(2))。
- (3) 「ハルジマン」、「まきばたろう」は市販されているが、「北海30号」は平成31年から販売開始を予定している。

4 成果の活用方法等

- (1) 適用地帯又は対象者等
県下全域
- (2) 期待する活用効果
飼料作物の多収かつ安定した生産が期待される。
普及見込み面積 80ha

5 当該事項に係る試験研究課題

H24-08 オーチャードグラス中生優良品種選定試験 (H24-26) 県単

6 研究担当者

佐藤まり子

7 参考資料・文献

- (1) 農林水産省技術会議事務局・農林水産省草地試験場
「飼料作物系統適応性検定試験実施要領(改訂5版)」平成13年4月
- (2) 岩手県農林水産部「牧草・飼料作物生産利用指針」平成25年5月
- (3) オーチャードグラス「フロンティア」の推奨品種への編入(昭和63年岩手県試験研究成果)
- (4) オーチャードグラス新品種「ハルジマン」の育成とその特性(平成14年北海道農研研報177,15-36)

8 試験成績の概要（具体的なデータ）

(1) 耕種概要

ア	試験場所	滝沢市畜産研究所内圃場（標高 250m）
イ	播種日	平成 23 年 9 月 27 日
ウ	播種量	2.2 kg/10a
エ	土壌改良資材	炭カル：pH6.5 矯正量、熔燐：燐酸吸収係数 2% 量
オ	施肥量 (kg/10a)	造成時：窒素 7、燐酸 14、カリ 7 早春時：窒素 10、燐酸 5、カリ 10 刈取後：窒素 5、燐酸 2.5、カリ 5
カ	供試品種	

品種名	育成元	登録年度
ハルジマン	北海道農研センター	平成 16 年
まきばたろう	畜産草地研究所	平成 21 年
北海 30 号	北海道農研センターと 雪印種苗(株)の共同育成	平成 28 年（予定）

表1 出穂

品種名	出穂始期 (月日)	出穂期 (月日)	出穂程度(1~9)			
			H24	H25	H26	平均
ハルジマン	5/24	5/29	6	9	9	8.0
まきばたろう	5/19	5/25	4	9	9	7.3
北海30号	5/24	5/29	6	9	9	8.0
参考 フロンティア	5/20	5/23	6	9	9	8.0

※出穂始期及び出穂期は試験3か年の平均値

※出穂程度は無を1、極多を9とする評点法

表2 生育特性及び形態的特性

品種	越冬性 (1~9)	病害(1~9)		倒伏(1~9)			草丈(cm)		
		雪腐褐色小粒菌核	葉枯病	1番草	2番草	3番草	1番草	2番草	3番草
ハルジマン	9	2	2	1.7	2.9	2.0	105.0	94.3	84.3
まきばたろう	6	6	2	3.0	2.4	2.3	94.3	91.3	82.7
北海30号	7	2	2	1.7	2.9	2.3	106.0	100.3	90.3
参考 フロンティア	5	5	2	2.7	2.6	2.0	99.3	97.3	85.0

※越冬性は極不良を1、極良を9とする評点法(播種翌年の調査結果)

※病害及び倒伏は無を1、甚を9とする評点法

※褐色小粒菌核は播種翌年春の調査結果、葉枯病はH26年の3番草での調査結果である

※倒伏及び草丈は試験3か年の平均値である

表3 乾物収量

	(kg/10a)						
	番草別			年間合計			
	1番草	2番草	3番草	1年目 H24	2年目 H25	3年目 H26	3か年 平均
ハルジマン	474 (99)	346 (90)	257 (84)	1212 (98)	1068 (84)	950 (94)	1077 (92)
まきばたろう	442 (92)	367 (95)	257 (84)	1144 (93)	1264 (100)	952 (94)	1120 (96)
北海30号	470 (98)	360 (93)	300 (98)	1265 (103)	1138 (90)	986 (97)	1130 (97)
参考 フロンティア	479	386	305	1231	1264	1013	1169

※試験3か年の平均収量

※()内はフロンティアを100としたときの数値